

おしゃれ着素材は、洗いかからすぎまで、同じ温度で洗いましょう。温度変化で収縮や型崩れを起こします

クリーニング店では、おしゃれ着は水で洗い、ぬるま湯では洗いません。

※ 水で洗ったほうが風合い良く柔らかく仕上り、縮みや型崩れなどトラブルが起きにくい。

※ 洗いかからすぎまで一定の水温が必須!

普通の洗濯で汚れをしっかりとす 皮脂汚れは水洗いでは落ちない

皮脂汚れは40℃以上の温水で洗わなければ落ちません。

臭いのする衣類や汗の付いた衣類は、温水浸け置きをしてから洗いましょう。

洗面器などに40℃位のお湯(2ℓ)を入れ、石けん(20g)を溶かして、衣類を10分間漬込み、そのまま洗濯機に入れて、ほかの物と一緒に洗いましょう。毎回行う必要はありません、汚れや臭いが気になったら行うと良いでしょう。デリケート素材や濃色衣類などの品物は避けましょう。

黄ばみや黒ずみを落とす 洗濯後しまった衣類が、襟や全体が黄ばんでしまった

黄ばみの原因の一つは、皮脂汚れ。皮脂汚れが、時間経過によって酸化することで、黄ばみが発生します。

シャツやパンツなど皮脂汚れが付きやすい衣類のしまい込みの時は、皮脂汚れをしっかりと落としましょう。皮脂汚れを落とすには、洗面器などにお湯2リットル(約40~50℃)に対して石けん約10gと粉末酸素系漂白剤約20gを溶かして、約60分間漬け込みます。のちに他の物と洗いましょう。(品物の量によって水量や洗剤量等を調整)色移りしやすいものやデリケート素材等は水温を下げてください。

黄ばみの原因のもう一つに、洗剤残りが残ります。洗剤の入れすぎや、洗濯物の入れすぎにより、洗剤が残りやすくなります。しまい込みの時は、普段以上に洗剤の適正量を厳守して、洗濯物の量を5~7分目にしましょう。

飲食のシミの落とし方

ワイン・ジュース・しょうゆ・ケチャップ・チョコレート・ラーメン・カレー・スープ・ミートソース・焼肉のたれなどお湯(約60℃)をかけ、石けんと酸素系漂白剤を付けブラシで擦り、内側になるよう丸め、60分後に洗濯。デリケート素材や濃色衣類などの品物は避けましょう。



泥汚れの落とし方

泥は水や油に溶けない不溶性(固形)汚れです。主に砂・ホコリ・煤煙(スス)・粘土・鉄粉などが含まれます。

何もしないで水洗いしてしまうと、繊維の奥に泥が入ってしまい、取り除くのが困難になってしまいます

- ① 乾いた状態で、表面の泥をブラシなどで取り払います
(最初に水で濡らすと、表面の泥が繊維の中に入り込んでしまう)
- ② 洗面所で、お湯と固形又は粉せっけんを付け、ブラシで擦ります
(泥は不溶性の汚れです。力を加えなければ取り除けません)
- ③ 水で流します
(汚れが残っていたら、洗面器にお湯約60℃と石けんと酸素系漂白剤を入れ1~2時間漬け込み
色移りしやすいものやデリケート素材等は水温を下げてください)
- ④ 洗濯します



汚れも気持ちもすっきり!生活クラブの石けん消費材で洗いましょう♪

一緒に地球にやさしい暮らしを提案していきませんか

環境委員会メンバー募集中!

組織運営課(072-641-5547)までお電話ください。